

## テーマ：モダリティの多様化と創薬トレンド

2023年9月12日(火) 18:00-19:00



要登録・オンライン・参加無料 [登録サイトはこちら](#)

### ご講演内容

医薬品の開発において創薬トレンドを理解することは、研究の方向性や戦略の選択、資金獲得、共同研究の促進、社会的な影響と貢献など、研究活動と社会貢献の幅を広げるために極めて重要です。

この度、日経バイオテク編集長の久保田文先生をお招きし、以下のトピックを中心に学ぶためのセミナーを開催いたします。

#### <主なトピック>

- ✓ 現状売上高トップの医薬品は低分子薬と蛋白質医薬が中心になっている
- ✓ 遺伝子・細胞治療、核酸医薬など創薬モダリティは多様化している
- ✓ ウイルスベクターや脂質ナノ粒子など多様な送達技術が実用化しつつある
- ✓ 創薬においては「病態の理解>モダリティの活用」が常識になっている
- ✓ TRやrTRを通じ早期POCを取得する重要性が増している

医薬品開発を始めようとしている、または既に開発を進めている先生方、そして開発の支援に携わっている方々のご参加を心からお待ちしております。

### 講師紹介

#### 久保田 文 先生

株式会社日経BP 日経バイオテク編集長

2002年3月：東京農工大学農学部 卒業

2002年4月：株式会社日経BP 入社

日経バイオビジネス（現在は休刊）、日経バイオテクにて国内外のバイオ・ヘルスケア業界を取材、記事を執筆

2009年1月：日経メディカルにて記事を執筆

2014年1月：日経バイオテク・日経メディカル副編集長

2023年4月：日経バイオテク編集長



慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、臨床研究・治験に関わる研究者および研究支援者の育成を目的に、各種の教育研修プログラムを開講しております。この『橋渡し研究プログラム 教育セミナー』は、研究シーズ実用化に向けた開発イメージ構築のお手伝いを主眼とし、実践的側面と土台となる理論的側面をバランス良く配して経験豊富な講師陣によりわかりやすい講義を提供していきます。

お問合せ先：慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター TR部門

TEL 03-5363-3474 (内線 63744) mail: [apply-tr@ctr.hosp.keio.ac.jp](mailto:apply-tr@ctr.hosp.keio.ac.jp)